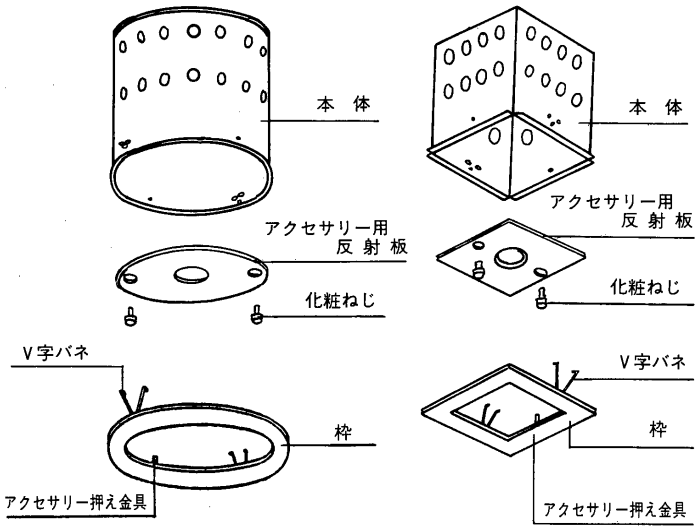
TOSHIBA

東芝HID埋込ダウンライト取扱説明書

DD−2521R　DD−2521C　DD−2521N　DD−2521L
DD−2522R　DD−2522C　DD−2522N　DD−2522L
官電協 適合器具
DD−2521LS
DD−2521SF

このたびは東芝HID 埋込ダウンライトをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

各部のなまえ

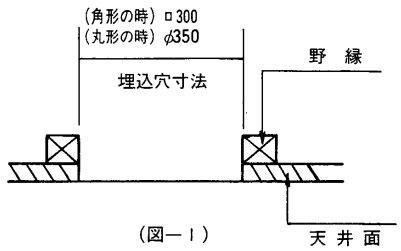


■器具形名・適合ランプおよび埋込穴寸法

分類		器具形名	官電協 形名	適合ランプ（別売）	埋込穴寸法(mm)
丸形	透明強化ガラス	DD−2521C 相 (DD−2521 DD−21C)	HRF2−200 ～250(M)	M(F)250・L−J/BU NH150(F)SD・L～NH250(F)SD・L HF200X・S～HF250X・S HF200X・W～HF250X・W H200～H250 BHF250W D250	φ350
	乳白アクリルカバー	DD−2521N 相 (DD−2521 DD−21N)	HRF4−200 ～250(M)		
	ルーバー付	DD−2521L 相 (DD−2521 DD−21L)	HRL2−200 ～250(M)		
	格子ルーバー付	DD−2521LS 相 (DD−2521 DD−4LS)	———		
	模様入強化ガラス付	DD−2521SF 相 (DD−2521 DD−4SF)	———		
	下面開放	DD−2511R 相 (DD−2521 DD−21R)	HRS2−200 ～250(M)	拡散形・蛍光形 MF250・L−J/BU NH150(F)SD・L～NH250(F)SD・L HF200X・S～HF250X・S HF200X・W～HF250X・W BHF250W	
角形	下面開放	DD−2522R 相 (DD−2522 DD−22R)	HRS1−200 ～250(M)		□300
	透明強化ガラス	DD−2522C 相 (DD−2522 DD−22C)	HRF1−200 ～250(M)	M(F)250・L−J/BU NH150(F)SD・L−NH250(F)SD・L HF200X・S～HF250X・S HF200X・W～HF250X・W H200～H250 BHF250W D250	
	乳白アクリルカバー	DD−2522N 相 (DD−2522 DD−22N)	HRF3−200 ～250(M)		
	ルーバー付	DD−2522L 相 (DD−2522 DD−22L)	HRL1−200 ～250(M)		

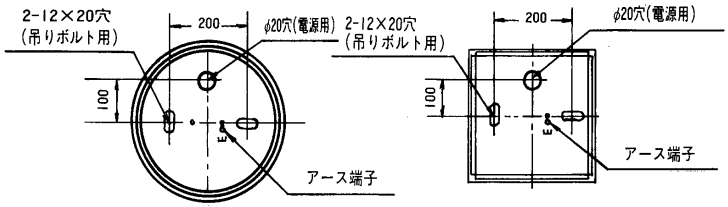
器具の取り付けかた

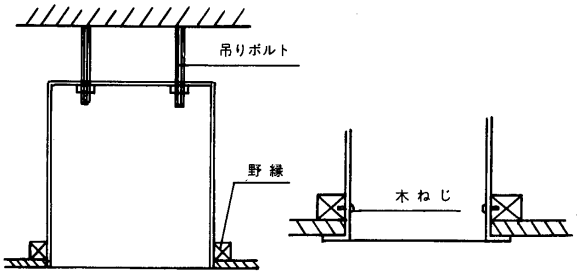
①天井に器具埋込穴をあけてください。（図－１）
②本体から化粧枠をはずしてください。
③アース線をアース端子に接続してください。安定器二次側電線を本体の中に引き込んでください。
④本体を埋込穴に押し込み、吊りボルトまたは木ねじで固定してください。（図－２）
⑤安定器二次側電線を付属の保護チューブを通してから口出線に接続してください。
⑥アクセサリー用反射板を化粧ねじで本体に取り付けてください。（反射板、化粧ねじ（２本）はアクセサリーと同梱です）
⑦ランプ(別売)をソケットに取り付けてください。
DD−2521R、DD−2522Rのときはランプの取り付けは化粧枠を取り付けたあとから行なってください。
⑧化粧枠にアクセサリーまたは反射板をのせてからアクセサリー押え金具で押えてから化粧枠のＶ字バネをつまんで本体の受け金具に引掛け、化粧枠を押し上げてください。（図－３、４）



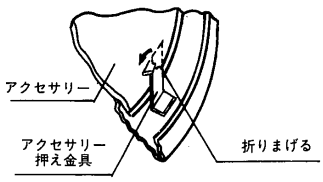
（図－１）

吊りボルト寸法

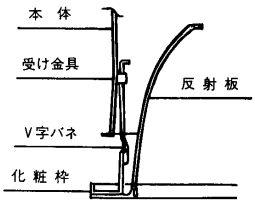




吊りボルトによる固定　（図－２）　木ねじによる固定



（図－３）



（図－４）

お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
一般の方の工事は法で禁じられております。

工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

TOSHIBA

特にご注意を

■この器具にはランプや安定器は付属しておりませんので、別にお買い求めください。
○ランプは必ず指定されているランプをご使用ください。
○安定器は使用ランプに適合する安定器をご使用ください。
ただし、安定器には電源周波数が50ヘルツ(Hz)用と60ヘルツ(Hz)用の区別がありますので、地域の周波数に合った安定器をお選びください。まちがえてご使用になりますと、ランプ寿命が短かくなったり、過熱して焼損などのもとになります。

■天井の器具埋込穴は、指定どおり正しくあけてください。
器具が固定できなかったり、光もれの原因となります。
またこの器具は、天井の丈夫な所に取り付けてください。
薄い天井板などの場合は、野縁などで補強してください。

■紙や布などを器具にかぶせたりしないでください。器具の温度が高くなり、火災などの事故のもとになります。

■安定器二次側電線が本体や反射板にふれないようにしてください。安定器二次側電線の過熱や焼損のもとになります。

■必ずアースを取り付けてください。アースは法により第３種接地工事が必要です。

■器具の改造やランプ以外の部品の交換は、性能が十分に発揮できないばかりか大変危険です。絶対におやめください。

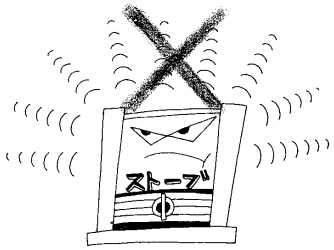
■点灯中や消灯直後のランプは高温になります。手をふれないでください。やけどをする場合があります。

■ランプを交換するときは、必ず電源を切ってください。

■ランプ交換の際は、使用している安定器に適合した〝東芝ランプ〟をご指定ください。

■この器具は屋内専用で、５℃～35℃の温度範囲で使用するよう設計してあります。

■暖房器具の近くなど温度の高い場所、湯気の直接あたる場所、湿気の多い場所でのご使用は絶対におやめください。火災や感電、故障のもとになります。



お手入れのしかた

■器具のお手入れの際は、必ず電源スイッチを切ってください。

■器具が汚れたときは、やわらかい布を、せっけん水に浸しよくしぼってからふきとってください。

■ランプは取りはずしてから乾いた布でふいてください。

■金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。
傷つけたり、腐食の原因となります。

■ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変質、変色の原因となります。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。
なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社 照明電材事業部 〒140 東京都品川区南品川２丁目２番13号(南品川JNビル) TEL (03) 5463－8771

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

003018D